

県士会 ニュース

No.
198
[2019.8]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents

TOPIC

- 2 2019年度一般社団法人神奈川県作業療法士会第6回社員総会報告
- 4 新入会員オリエンテーション&歓迎会2019開催しました
- 1 巻頭言
- 2 訃報
- 3 理事会議事録
- 4 各部からの報告
- 7 生活行為向上マネジメント
- 7 研修会案内
- 8 作品コーナー
- 8 事務局からのお願い
- 8 編集後記

巻頭言

2019年度神奈川県作業療法士会総会を終えて

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 会長
日本鋼管病院

鏡内 広之



日頃は当会へのご協力、ご支援ありがとうございます。今年度の総会、そして臨時理事会を経て会長に就任いたしました鏡内です。前期に引き続きどうぞよろしくお願いいたします。再任にあたりまして一言、ご挨拶させていただきます。

今年度の理事・監事役員改選により、理事18名、監事2名が選出されました。そのうち、理事に関しては4名、監事に関しては1名が新任となります。退任された役員の皆様、大変ご苦労さまでした。今後は、違う立場で私も執行部を叱咤激励して頂ければと思います。また新任の皆様におかれましては、忌憚のない提案をどんどんしていただき、共により良い県士会作りに取り組んでいきましょう。

さて今年度は役員改選だけではなく、県士会活動についても節目の年となります。我々の役員任期である今後2年を通した取り組みということになりますが、ここ数年来検討してきました多くの課題に結果をださなければならない重要な2年間になります。具体的には、一つはエリア化の実現に向けた取り組みです。今期の総会議案書には、新たにスローガンとして“地域に密着した作業療法を一人ひとりの作業療法士が実行しよう！”と記載させていただきました。“ブロック化”ではなく“エリア化”という言葉を使用しているのは、“ブロック”という決まった地域での取り組みではなく、境目があいまいな印象である“エリア”という言葉を使って横のつながりを大切にしたいという思いからです。概念的な表現で申し訳ありませんが、県士会が完全にコントロールするのではなくエリアの自主性に合わせて“一人ひとりの作業療法士”が主体的に活動ができる場のお手伝いできればと考えています。昨年度までの理事会検討よりこの目的を整理することが出来たので、この2年間で具体的な活動に向けて皆さんのアイデアを頂きたいと考えています。2つ目は、公益法人化に向けた取り組みです。昨年度までの検討より、公益法人

化に向けた技術的な部分については理解を深める事ができました。そして県士会の活動内容自体は、おおよそ公益事業として認められる事もわかりました。今年度の日本作業療法士協会総会でも協会の公益法人化を求める意見も提出されていましたが、当会の定款にもあります「神奈川県民の保健・医療・福祉の向上に寄与する」ためには、あるいはこの目的が県民に理解されやすいのは公益法人の取得であることは言うまでもありません。具体的な時期について提案できればと考えています。3つ目は、公益法人の取得に向けた技術的な側面にも関わって来ますが、県士会の事務局業務の整理についてです。第一に現在の財務諸表については公益法人にはそぐわないと考えています。また、日本作業療法士協会との会員情報の連携や県士会会員情報の管理強化も課題です。さらには、公益法人化を見据えた組織改編の必要もあり、これも事務局の効率化に繋がってきます。

以上、大きく3つの課題に関して、会員の理解が得られる具体的な取り組みと結果が求められていると考えています。今期の総会前段で、アンケート調査により代議員の皆様からはこれからの県士会活動に向けた具体的な意見を多くいただきました。その中でも、上記の内容についてご意見を頂いております。ご協力ありがとうございました。

最後になりますが、我々執行部は皆様から預かりました県士会費を最大限有効に使用できるよう、活動の計画や予算の執行に慎重に取り組んでいます。職能団体の存在自体が自らの資格、そして職域を守る手段であると思いますので、これらの活動を粛々と実行していく事は決して間違っていないと考えます。しかしながら、県士会員の増加とともに一人ひとりの顔が少し遠ざかってきた感があるのも事実です。2300人を越えてきた県士会員、どうしたらもっと皆さんの顔が見えるのでしょうか？一緒に考えていただければ幸いです。

2019年度 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 第6回社員総会 報告

事務局長 金山 桂

2019年5月19日(日)、かながわ労働プラザにて第6回社員総会が開催されました。代議員70名のうち、参加者42名、委任状28通で総会が成立しました。事前に提案された第1～4号議案に加え、当日第5号議案として代議員の金山桂より「特設委員会の設置について」が提案され、出席者の1/2以上の賛成を得、審議に加えられました。

第1号議案「2019年度事業計画(案)」、第2号議案「2019年度予算(案)」、第3号議案「規約の変更について」、第4号議案「理事の改選について」、第5号議案「特設委員会の設置について」は賛成多数で可決されました。詳細はHPの議事録をご覧くださいのですが、質疑応答も内容の濃いものになっています。

特設委員会である「エリア化推進委員会」についてです。県内会員間の交流・情報交換が行える「ナナメの関係づくり」を、まず目指していきます。これからニュース、HP等で発信していきますのでご注目ください。

役員改選については、HPでご報告しておりますが、18名の理事及び2名の監事の立候補者・推薦候補者が承認されました。総会後の臨時理事会で、会長(代表理事)に錠内広之氏(日本鋼管病院)、副会長に野々垣睦美氏(クラブハウスすてっぷなな)、木村修介氏(合同会社RURA アイ・エル訪問看護ステーション)、事務局長に金山桂(介護老人保健施設千の風・川崎)が選ばれました。各理事の担当については表をご覧ください。

総会終了後には長年にわたり神奈川県作業療法士会に所属・貢献された会員の皆さんに感謝の意を表す表彰式

が行われました。

2019年度も会員の皆さまに有益になるよう活動を進めてまいります。今年度もご協力のほどよろしくお願いいたします。

担 当	2019 - 2020 年度
会 長	錠 内 広 之
副 会 長	野々垣 睦 美
副 会 長	木 村 修 介
事 務 局 長	金 山 桂
財 務 部	吉 本 雅 一
学 術 部	佐々木 秀 一
教 育 部	奥 原 孝 幸
広 報 部	神 保 武 則
福 利 部	玖 島 弘 規
地域リハビリテーション部	遠 藤 陵 晃
制 度 対 策 部	野 本 義 則
規 約 委 員 会	神 田 崇 央
ウ ェ ブ サ イ ト 理 委 員 会	佐 藤 範 明
学 会 評 議 委 員 会	戸 塚 香 代 子
公 益 法 人 化 対 策 委 員 会	澤 口 勇
生活行為向上マネジメント推進委員会	木 村 修 介 ※兼任
認 知 症 対 策 委 員 会	佐 藤 良 枝
地域包括ケアシステム推進委員会	西 川 航 平
エ リ ア 化 推 進 委 員 会	大 郷 和 成
監 事	田 中 ゆかり
監 事	鶴 見 隆 彦
特 別 顧 問	渡 邊 慎 一

訃報 浅井 憲義 先生 (享年72歳)

当会の名誉会員である浅井憲義先生がご逝去されました。浅井先生は当会の草創期より事務局業務に携わっていただき、1997年からは理事として、2013年からは監事として県士会の中心的役割を長年担っていただきました。また若手中心の県士会役員の中では、よき相談役として、あるいはまるで我々の父親のように暖かく見守っていただきました。浅井先生がその場においてくれるだけで、皆安心して業務に取り組む事ができたものです。神奈川県作業療法士会の恩人です。心よりご冥福をお祈りいたします。

(文責:会長 錠内 広之)

【主な学歴・職歴】

- 1976: 国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院作業療法科 卒業
埼玉医科大学リハビリテーション科 作業療法室
- 1982: 国立療養所村山病院 理学診療科作業療法室
- 1991: ウェスタンミシガン大学作業療法学修士課程 修了
- 1994: 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻助教授
- 1997: 医学博士 (北里大学)
- 2000: 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻教授
北里大学大学院医療系研究科 教授
- 2013: 北里大学医療衛生学部名誉教授

【主な神奈川県作業療法士会役員歴】

- 1997 - 1998: 福利部理事
- 1999 - 2012: 企画調整委員会理事
- 2013 - 2015: 監事
- 2016 - : 名誉会員

【主な日本作業療法士協会役員歴】

- 1983 - : 学術部
- 1986 - : 機器検討委員会
- 1995 - : 渉外部
- 2001 - : 学術部 (研究法手引委員会、作業療法マニュアル編集委員会、課題研究審査委員会)

- 2013 - : 教育部
- 2015 - : 研究倫理審査委員会

【北里大学委員会等】

- 2009 - 2013: 学術国際交流助成審査委員会 委員長、その他国際推進方策検討委員、総務委員、教育委員、研究倫理審査委員など多数

【主な学会および社会活動等】

- 2002 - : 日本義肢装具学会 評議員
- 2008 - : 日本運動療法学会 理事

【主な研究活動】

- 1985: ハラキン株式会社 (現: 有限会社ハニーインターナショナル) とポータブルスプリングバランス (PSB) を共同開発
- 1986: 「スプリングバランス」の開発 浅井 憲義、黒岩 貞枝、永田 雅章、原 勤 日本義肢装具学会誌 2 (2) 167 - 171]

【表彰歴】

- 2011: 日本義肢装具学会 飯田賞 (奨励賞) (腕保持装具の長年の開発研究)
- 2014: 日本作業療法士協会会長表彰 (多年にわたる協会活動発展への寄与)
- 2015: 平成 27 年度神奈川県保健衛生表彰 医療関係功労者受賞



理事会議事録

★平成30年(2018年)度3月理事会議事録

1. 日 時：2019年3月22日(金) 19:04～20:55
2. 場 所：神奈川県作業療法士会事務所
3. 理事定数
参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・奥原・玖島・遠藤・作田・村越・澤口・佐藤・大郷(13名)
欠席理事：佐々木・神保・野本・名古屋(4名)
参加監事：田中・糊澤(2名)
その他：平山事務局長・森田事務局長(書記)
4. 審議事項
 - (1) 事務局
 - 1) 神奈川県保険医協会 第28回在宅医療・介護セミナー 後援承認
 - 2) 日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 湘南二宮大会 後援承認
 - 3) 小田原市介護認定審査会委員 佐藤良枝氏(曾我病院)・館下潤一氏(国府津病院) 継続
 - 4) 湯河原町介護認定審査会委員 野地育子氏(曾我病院) 継続
 - 5) 養成校 養成校卒業式・入学式 祝電を送った
 - (2) 教育部
 - 1) 研修会ポイントシールの扱いについて 協会システムの順延により次年度もポイントシールの扱いは従来通りとなる。
 - 2) 現職者選択研修(精神障害領域)：2019年2月24日(日) ウィリング横浜 参加者：30名
 - 3) 臨床実習指導者研修について 協会の動きがないため、県士会としても動けていない。協会の動き待ち。
 - (3) 広報部
 - 1) 対外広報班 (ア) 神奈川県介護支援専門員研究大会 2019年2月16日(土) 相模原市産業会館 内容：パンフレット配布・介護支援専門員との相談コーナー
 - (4) 地域リハビリテーション部
 - 1) 地域包括ケアシステム三団体合同研修会 2019年2月24日(日) A P 横浜西口
 - (5) ウェブサイト管理委員会
 - 1) HPのアクセスエラーについて 昨年の5月から対応しているが制限がかかり、見られないことがある。原因と思われるアクセス解析を中止した。これで改善しなければ再度検討する。
 - (6) 学会評議委員会
 - 1) 次年度臨床大会について 2020年度は運営マニュアル作成のため、大会長を会長、実行委員を理事に依頼することで開催予定。抄録の在り方、業者の検討、会場の検討について見直すきっかけとする。臨床大会の在り方についても検討していく。
 - (7) 認知症対策委員会
 - 1) 認知症の人と家族の会つどい派遣 2019年3月3日2名派遣
 - (8) 地域包括ケア推進委員会
 - 1) 横浜市との事業検討会 2019年2月13日(水) 19:00～20:30 来年度の派遣回数は60回を予定
 - (9) エリア化構想準備委員会
 - 1) 会員と県士会に対するアンケート結果について 代議員に実施したアンケート結果について報告があった。総会にて発表する。今回のアンケート結果を踏まえ、今後もアンケートを実施していく。
 - 2) 各エリアの実現会議実施について 理事には8エリアで開催される会への参画を依頼。
 - (10) その他
 - 1) WEB会議の導入について WEB会議の体験を実施。現在の定款・規約に照らして導入方法について三役で検討する。
 - 2) 選挙管理委員会：理事選挙について 理事推薦3名(遠藤隆晃氏、戸塚香代子氏、西川航平氏)、監事推薦2名(田中ゆかり氏、鶴見隆彦氏)について承認した。
以上(文責：平山・森田・金山)

★2019年度4月理事会議事録

1. 日 時：2019年4月25日(木) 19:05～21:05
2. 場 所：神奈川県作業療法士会事務所
3. 理事定数
参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・野本・遠藤・村越・澤口・佐藤(14名)
欠席理事：作田・名古屋・大郷(3名)
参加監事：田中(1名)
欠席監事：糊澤(1名)
新理事：佐藤・神田・西川(3名)
選挙管理委員長 池田
4. 審議事項
 - (1) 事務局
 - 1) 2019年度休会者 14名が希望。⇒すべて承認
 - 2) 川崎市地域リハ体制検討プロジェクトチームについて 当会代表として金山事務局長を承認する。
 - 3) 交通事故被害者支援神奈川県講習会 2019年9月7日開催について後援承認する。
 - (2) 財務部
 - 1) 2018年度 期末監査 結果報告 田中監事より監査結果を報告。吉本理事より監査結果を受け、半期内での会計処理を行うために半期ごとの部会・委員会の開催を提案。
 - (3) 広報部
 - 1) 対外広報 (ア) 県士会作成パンフレットの増刷 会員情報を更新し、4,000部増刷。
 - (4) 制度対策部
 - 1) 社会保障制度対策班 (ア) 日本作業療法士協会の情報配信等を県士会ブログへ掲載 3月中2回
 - 2) 災害対策班 (ア) OT協会「災害発生を想定したシミュレーション訓練」報告 2月8日実施。今年度も安否確認システムを実施。120件の回答。実施方法および告知方法を検討していく。
 - (5) 地域リハビリテーション部
 - 1) 藤沢市地域ケア会議のリハ専門職派遣、参加依頼遠藤理事が依頼継続。
 - 2) 栄養士研修会へ講師派遣 介護予防普及展開事業で専門職として関わっている栄養士から講師依頼あり。遠藤理事で対応済み。
 - (ウ) 作業療法士と学童保育の連携事業報告書 当会でも学童保育×作業療法、地域(子ども)スキルアップ研修会の後援という形で学童保育連絡協議会と連携中。
 - (エ) 地域リハビリテーション；地域リーダー会議について 訪問リハビリ財団主催の会議に遠藤理事、佐藤氏が参加。7月開催予定の研修会について詳細が決まり次第周知依頼がある。
 - (6) 学会評議委員会
 - 1) 県学会事前登録について 4月22日～開始している。周知と促しの依頼がある。
 - (7) 認知症対策委員会
 - 1) 研修会について 2019年6月30日(日)9:30～15:30 横浜リハビリテーション専門学校 希望者は職種を問わず参加可能、半日参加可。今年度中にもう1回2時間程度のミニ研修会を平日夜間に開催予定。
 - (8) ウェブサイト管理
 - 1) レンタルサーバーについて 通信制限の根本解決には至っていない。現在複数のサイトが使用するサーバーを使用しており、当サイトの使用量が多いので制限を受けている可能性がある。当サイトのみで使用できるサーバーへの変更が提案される。継続審議。
 - (9) エリア化推進準備委員会
 - 1) キックオフ会について エリア化検討準備委員会内で検討した結果、キックオフ会は実施せず、各エリアでエリア化に関する周知と意見交換を行っていくことが提案される。
 - (10) 監事より 予算額も会員数も大きくなる中で、エリア化が進んできた印象がある。一人一人が県士会活動に参加しやすいよう今後も検討してほしい。

以上、文責(池田・金山)

新入会員オリエンテーション&歓迎会2019開催しました

福利部 玖島 弘規

今年も学術部とのコラボレーション企画として、学術部主催の研修会『脳血管障害患者に対する急性期、回復期、生活期の作業療法士の視点～事例を通じて作業療法士にできることを学ぶ～』の講義終了後に開催しました。

新入会員オリエンテーション&歓迎会は、新しく入会された会員の歓迎と会員間の交流を目的に行っており、今年は総勢 72 名の方が参加されました。

歓迎会は野々垣副会長の歓迎の挨拶と乾杯からスタートしました。

講義後のお昼の開催ということもあり、食べ物に箸を伸ばしつつ、交流を楽しんでいました。

歓迎会の終盤では、理事より各部や委員会の説明をし

て頂き、県士会活動のアピールを行って頂きました。そして今年も、くじ引き抽選会を開催!! くじ引きで番号を呼ばれた方にプレゼントをお渡ししました。

そして和やかな雰囲気の中、今年の歓迎会も閉幕しました。

最後に、当日ご参加頂いたみなさまありがとうございました。これからも神奈川県内の作業療法を盛り上げていきましょう。「こんな企画をやって欲しい」、「県士会の仕事をやってみたい」などご意見をお寄せください。

まずは7月21日の第17回神奈川県作業療法学会へ Go Go !!



各部からの報告

教育部 **連載**「お届け!生涯教育制度、あれもこれも」 県士会ウェブサイトから質問ができます!

(文責:教育部 奥原 孝幸 (神奈川県立保健福祉大学) 046-828-2738 (直)、kyoiku@kana-ot.jp)

今号の「**お届け!生涯教育制度、あれもこれも**」は、今年度の教育部主催のOT協会生涯教育制度関連の研修会についてお知らせします。OT協会、県士会主催事業には両方の正会員でないと参加できません。先輩会員は、OT協会、県士会への入会と各種事業への参加をおすすめください。

また、本原稿提出の段階で未定な研修会が多くありますが、例年通り以下の研修会を開催します。開催情報は県士会ニュース、県士会ウェブサイトに掲載しますのでご注意ください。

1. **現職者共通研修**:生涯教育制度の必須基礎研修で、認定作業療法士や専門作業療法士になるには最初に受講が必要です。全10テーマで、テーマ毎(90分)に受講します。

※今号チラシに詳細が同封されています。ご確認の上お申し込みください。

2. **現職者選択研修**:生涯教育制度の必須基礎研修で、生活行為向上マネジメント(MTDLP)基礎研修(県

士会MTDLP推進委員会主催)と領域別(身体・老年期・精神・発達の各障害領域のうち1領域を選択、選択領域は業務の領域とは関係ありません)の2テーマを受講します。

※今年度は企画検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。

3. **事例報告登録制度に関する研修会**:事例報告登録は認定作業療法士の申請に必須です。現職者共通研修の「事例報告と事例研究」と組み合わせて、県士会独自の研修会として開催します。

※今年度は企画検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。

4. **臨床実習指導者講習会**:現在企画検討中です。決まり次第ご案内いたします。

ご不明の点をご連絡ください。県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

福利部 2019年度 神奈川県作業療法士会 「特別功労表彰」「功労表彰」受賞 報告

(文責：畠中・玖島)

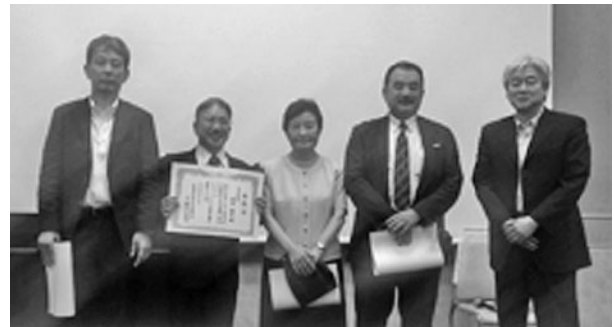
2018年度より、神奈川県作業療法士会「特別功労表彰」及び「功労表彰」を創設しました。この表彰は、作業療法の発展や職能向上、県士会活動の発展に寄与された会員を対象に表彰を行います。今年度は、「特別功労表彰」を2名の先生方が、「功労表彰」を7名の先生方が受賞されました。5月19日の社員総会では、授賞式が執り行われ、受賞者を代表して、松葉正子先生、渡邊慎一先生、玉垣努先生、坂本俊夫先生にご臨席頂きました。今後も神奈川県ならびに日本の作業療法の発展にますます寄与されていくことと存じます。先生方のご受賞を心よりお祝い申し上げます。

【特別功労表彰】

・佐藤 馨先生 ・浅井 憲義先生

【功労表彰】

・松葉 正子先生 ・森田 千晶先生 ・渡邊 慎一先生
・玉垣 努先生 ・原 伸一先生 ・坂本 俊夫先生
・高橋真須美先生



このたび、特別功労表彰を受賞されました浅井憲義先生が6月7日逝去されました。これまでのご活躍に感謝し、心からご冥福をお祈り致します。

地域リハビリテーション

第10回訪問リハビリテーション地域リーダー会議 参加報告

平成31年4月27日・28日の2日間、日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協会の三協会が主催となって年1回開催される、訪問リハビリテーション地域リーダー会議に参加してきました。

全都道府県のPT・OT・ST士会から訪問リハビリテーションに関わる代表者160名近くの会員が集まり、三協会が取り組んできたこれまでの活動の振り返りや今後のビジョンについて同士たちで共有することができました。2日間のプログラムの中で、三協会長による訪問リハビリテーションの展望についてのシンポジウムや厚生労働省老人保健課長の真鍋氏による地域包括ケアシステムにおける訪問リハビリテーションへの期待、災害復興特区・地域活性化総合特区における訪問リハビリテーションの実践についての講演を聴講し、地域におけるリハビリテーションサービスへの需要がこれからますます高まっていくことを再認識する機会となりました。また、日本訪問看護財団常務理事佐藤氏からは、地域医療の要ともなる訪問看護ステーションが今日までに発展してきた経緯とそこにかける意志（パッション）、オランダやイギリスなど海外の先進的な在宅チームケアの実態についてご教示いただきました。

高齢化が進み、すでに高齢社会となっている地域では介護保険における訪問リハビリテーションやデイケア等のリハサービス事業が縮小している実情を聞きました。この原因としては医師の指示の下であるリハビリテーションの提供が医師のマンパワー不足によって引き起こされていることのように思われます。そのためにも訪問リハビリテーションはフットワークと成果を示すことで国民からの信頼を得なければならないことを改めて痛感しました。主治医の直接的指示によってリハビリテーションサービスが提供できる『訪問リハビリステーション』の具現化に向けて、私たちは「作業療法」・「理学療法」・「言

(文責：遠藤 陵晃)

語療法」が持つ個別かつ専門的な効果をしっかりと示して、その名称を広く発信していくことがカギになるかと思えます。

中村春基会長をはじめとする三協会長や国会議員としてリハ専門職を代表する小川克巳先生もご登壇されて提言をいただく会議でありましたが、地域共生社会の実現に向けたリハビリテーション職としてのあり方やこれからの展望について深く考える大変貴重なあつという間の2日間でした。ここで得られた情報や学んだことを今年度の県士会活動（研修会等）の中で会員の皆様にお届けできればと思います。

訪問リハビリテーション初任者研修会報告

6月3日日曜日に神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会主催の「訪問リハビリテーション初任者研修会」が横浜リハビリテーション専門学校で開催されました。参加者は理学療法士、言語聴覚士を合わせて71名で、研修内容としては午前中は石田先生からフィジカルアセスメント、午後は今年度から国家資格になった公認心理師で臨床心理士中村先生からのストレスについての講義を行いました。

フィジカルアセスメントでは、訪問看護師である石田和雄先生から緊急時の対応から呼吸、循環のアセスメント、終末対応などを丁寧に講義して頂き、明日から使える知識が盛りだくさんでした。午後からの中村有先生からは公認心理師と臨床心理士の違い、訪問現場でのコミュニケーションからストレス対策の仕方まで自分で自分を守ることなど、心理士へ相談をすることも仕事環境をやり易くするためには必要なことと講義を頂きました。

訪問リハビリテーションへ出る作業療法士にとって基礎的に必要な知識になるものばかりの1日だったと思います。来年度も少し内容を変えながら訪問リハビリ経験が少ない方やこれから訪問や地域へ出ていきたい方を対象に行いますので一度参加した方も含めて、参加してもらえればと思います。

学術部 スキルアップ研修会『脳血管障害患者に対する急性期・回復期・生活期のOTの視点～事例を通じてOTにできることを学ぶ～』の活動報告

(文責：梶原 真樹)



令和元年初めの学術部主催スキルアップ研修会は、学会発表や論文執筆など多方面でご活躍されている石川哲也先生をお招きして講義して頂きました！

講義内容として、各期における作業療法士としての共通の視点は生活視点でニーズに応えることであることを始めとして、ニーズを把握

するプロセスやツール、ニーズに応える評価や訓練について具体的な事例を交えて講義して頂きました！参加者全員が今後の臨床に役立つとのアンケート結果を頂いており、参加者の皆様方においても実りある時間となりました。

学術部スキルアップ研修会では、今年度も様々なスキルアップ研修会を開催予定です！皆様のご参加を心よりお待ちしております。

公益法人化対策委員会 公益法人格取得への道しるべ～温故知新～

(文責：澤口 勇)

1981年11月、神奈川県作業療法士会は77人にて設立しました。当時はOT協会本部の会員数も1000人程度の時代でした。その後、一人一人の作業療法士達が結束し、職能団体としてより社会貢献を果たすべく、2009年4月19日、第29回神奈川県作業療法士会総会において神奈川県作業療法士会は解散し、現在の「一般社団法人神奈川県作業療法士会」が誕生したわけです。そして今日、あれから10年が経ちました。

ここ数年来、「地域包括ケアシステムの構築」「地域医療構想」「在宅医療・介護連携推進」など、2025年先

の医療・福祉の在り方を示すビジョンが次々と出されていることは皆さんもご存知かもしれません。そういった時流の変化の中で改めて、我々作業療法士会が担う役割をもう一度考えるときかもしれません。

今号から「公益法人化取得」に向けて、連載を開始します。各会員にも熟知して頂きたいことや取得後の当会の公益事業継承のための体制づくりなどニュースを通じて皆さまとも一緒に考えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

広報部 広報部対外広報班活動報告

(文責：佐藤 隼)

活動日時：令和元年5月11・12日

於：第46回相模原市民若葉まつり

内容：自助具作成体験等のブース出展

神奈川県作業療法士会広報部の今年度一回目の活動は、相模原地区にて行いました。

「相模原市民若葉まつり」にて、広報部では自助具の展示・ボタンエイド作製体験・作業活動体験を設けたブースを出展しました。市民祭りの総来場者数は40万人、県土会ブースには約100名の方に「作業療法」を紹介することができました。

「作業活動体験」では、『母の日企画』として折り紙やおはながみを用いたカーネーションづくりを開催し、「自助具作製体験」では『ボタンエイド』の作製を通して“人は作業をすることで元気になれる”ことを体感していただきました。

相模原市民祭りの出展は、今年で7回目となります。ご来場者の声を振り返ると“自分事”としての関心度が高まってきているように感じます。

「手先が思うように動かなくて困っている」「このような道具があることを知らなかった」「おばあちゃんが困っていそうだからプレゼントしたい」など、高齢者から子どもまでの多世代が生活の中で感じている困りごとを認

識しており、「自助具を知る」ことによって、生活改善のイメージが明確になる瞬間を感じさせていただきました。

「近所の人にボタンエイドを教えたなら別の人も困っていたことも聞いて、また来ちゃいました」と2日間連続してブースにお越しくださる方もいました！

これからの少子高齢社会において、自助・互助を基盤とした地域共生社会の実現が求められております。今回の広報活動を通して、「作業療法士は病院や施設で生活されている方だけでなく、地域で暮らしている方の思いに耳を傾けることによって、より多くの人の健康や幸福に寄り添うことができるのではないか」と実感する活動となりました。これからも生活を良くする作業療法に関する広報活動を続けていきたいと思っております。





生活行為向上マネジメント

会員諸氏におかれましては生活行為向上マネジメントの普及推進にご協力いただき御礼申し上げます。

今年度のMTDLP研修会(旧基礎研修会)は2回を予定しております。

開催日時は以下の通りです。ご確認のうえ、ウェブサイトからお申込みください。

第1回 2019年9月15日(日) 9:30~17:30

横浜リハビリテーション専門学校

第2回 調整中

また、事例発表会を例年開催しておりますが、本県では事例発表会にご参加される方は多くありません。そのため事例発表会開催のコストを削減するため、開催場所は無料の会場(事業所)にいたします。

事例発表の準備が出来た会員の方は下記までご連絡ください。日程調整をして、1~5名程度の少人数で開催をしていきたいと思っております。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《事例発表の準備》

- 1) 生活行為向上マネジメントシート (A4 1枚)
- 2) 生活行為課題分析シート (A4 1枚)
- 3) 抄録 (A4 1枚にまとめる)

- イ) タイトル ロ) 事例紹介 ハ) 作業療法評価
 ニ) 作業療法計画 ホ) 介入経過 ヘ) 結果
 ト) 考察

《連絡先》

下記アドレスにメールにてご連絡ください。

宛先: mtdlp@kana-ot.jp

件名: 「MTDLP 事例発表申込み」

(文責: 生活行為向上マネジメント推進委員会 木村 修介)

研修会案内

●第11期【触診が苦手な方限定】6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー

主催: 療法士活性化委員会 日時: 第11期 2019年8月3、4日 9月7、8日

場所: ウィリング横浜 ゆめおおかオフィスタワー URL: <https://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

●リハビリ・トレーニング効果を向上させる新しい視点の活動分析と介入セミナー(東京会場)

主催: 日本通所ケア研究会 日時: 2019年8月17日 場所: 国際ファッションセンター

URL: https://www.tsuusho.com/activity_analysis/

●【いまさら聞けない解剖学】セラピストのための臨床解剖学 -変形性膝関節症編-

変形性膝関節症についての評価・治療の実技

主催: コウセラ 日時: 2019年8月18日 場所: 八洲学園大学 URL: <https://koutheraken.jimdo.com/>

●第53回三浦半島作業療法研究会

主催: 三浦半島作業療法研究会 日時: 2019年8月23日 場所: 神奈川県立保健福祉大学

URL: <http://miuraot.kenkyuukai.jp/event/>

●ポジショニング To シーティング 理論編×実技体感編~ポジショニングから行う姿勢制御アプローチ~

主催: 日本ユニバーサルリハビリテーション協会 日時: 2019年8月25日

場所: 八王子市芸術文化会館いちょうホール URL: <http://universalreha.com/>

●Árnadóttir OT- ADL Neurobehavioral Evaluation (Árnadóttir OT- ADL 神経行動学的評価法; A-ONE)

認定評価者講習会(2019)

主催: 日本A-ONE研究会(日本作業療法士協会SIG) 日時: 2019年8月28日~9月1日

場所: 麻生リハビリテーション大学校 URL: <https://aoneasacom.wixsite.com/aone>

●標準版家族心理教育研修会 in 横浜・上大岡

主催: 日本心理教育家族教室ネットワーク 日時: 2019年9月7、8日 場所: ウィリング横浜

URL: <http://jnpf.net/?p=1503>

●デイや介護事業者が地域共生社会を実現するための成長戦略実践セミナー(東京会場)

主催: 日本通所ケア研究会 日時: 2019年9月7日 場所: CIVI 研修センター秋葉原

URL: <https://www.tsuusho.com/insurance/>

●ご利用者の生活改善に向けた自立支援レクを学ぶ!日本ケアレク研修大会2019(横浜会場)

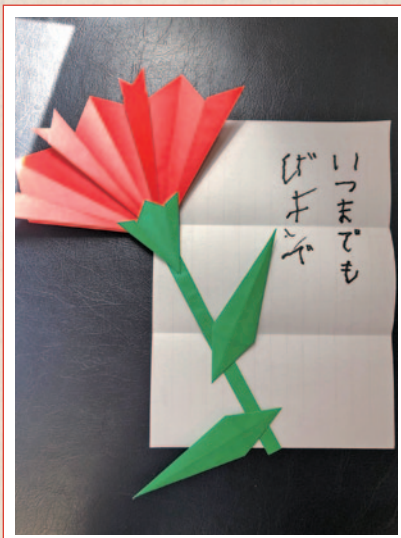
主催: 日本通所ケア研究会 日時: 2019年9月8日 場所: ウィリング横浜

URL: https://www.tsuusho.com/care_rec/

●全身の筋緊張制御を行うポジショニングからの摂食嚥下リハビリテーション理論編×実技体感編

主催: 日本ユニバーサルリハビリテーション協会 日時: 2019年9月15日

場所: 八王子市芸術文化会館いちょうホール URL: <http://universalreha.com/>



作品コーナー

作品名 母の日の贈り物

製作者 T・N様 (50代、脊髄小脳変性症)

作品について 昔から細かいのは苦手だけど、折り紙は好きだからできた。(OTより) お母様とのやりとりについて、はにかみながら教えてくださいました。

担当作業療法士

猿爪 優輝氏、實原 花奈氏 (北里大学大学院、TR 相模大野リハビリセンター)

作品大募集!

作業療法で作られた対象者様の作品を県士会ニュースに掲載しませんか? 紙面を彩る素敵な作品を募集しております!

応募方法 ①お名前(ふりがな) ②年齢 ③プロフィール ④作品タイトル ⑤作品について作者から一言 ⑥担当 OT のお名前 ⑦担当 OT のご連絡先 (Email、電話番号など) ①~⑦を記載し、作品写真を添付して下記アドレスへメールしてください。

募集締め切り 随時募集しております。

お問い合わせ Kouhou-sakuhin@kana-ot.jp (右のQRコードから読み込めます!)



事務局からのお願い

●休会される方

来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**(末日消印有効)までに①『休会届』と②『証明書』を郵送でご提出願います。(FAX不可)。

●届出内容を変更される方

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。(随時受付)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

編集後記

今号を皆様ご覧になる際は夏そのものになっていることでしょう。皆さん夏は好きですか? 私は暑がりの汗かきですが、風情があって夏は好きです! 今年も仕事にプライベートに良い思い出となる夏にしましょう。さて、本ニュースの印刷所様にて当会を担当下さる方が新しくなりました。U様、これからどうぞ宜しくお願い致します。そして制作のご依頼開始より長らくお世話になりましたT様、大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。(びぐめい)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (198号) 2019年8月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 洸(湘南慶育病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院) / 安田 優子(横浜旭中央総合病院)

丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院) / 松井 洋鷹(浏野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号

TEL/FAX : 045-663-5997

月火水木金 10:00~15:00

メールアドレス : jim@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川 検索

Facebook

<https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter

<https://twitter.com/kaotwebkan>

